

令和5年度 地域ケア圏域会議 実施結果

高齢者あんしん相談センター みずほ苑

日時及び場所	参加者	討議内容(地域課題・対応・今後の課題など)
5月22日(月) 13:30～15:00	<p>医師 1名 町会長 2名 民生委員 1名 介護支援専門員 4名 生活支援コーディネーター 2名 薬剤師1名 高齢者福祉課 1名 日本赤十字社埼玉県支部2名 高齢者あんしん相談センター 4名</p> <p>計 18名</p>	<p>「災害時の高齢者支援について考える～災害に強い地域作りを目指して～」</p> <p>《地域の概要》 第4保育所の辺りで水が上がる可能性がある。プロムナード沿いなど。大雨の時に車が通れなくなる個所はあり。 防災的には山崩れや川の氾濫などは心配ない地域だが、建物が古く、隣家がくっついている住宅街なので、倒壊などによる影響が心配がある。古い住宅街であれば火災が心配。</p> <p>《対応》 ・貴重品や便利品など「あなたにとって必要なもの」が紹介された冊子(回覧で参照)等を用いて、その人にとって必要なものは何かを支援者と共有しておくこと。災害経路の確認、連絡方法連絡先をどうするかなど、折に触れて話し合いをしておくことよい。 ・余裕をもって薬をストック(最低3日～1週間程度)しておくことよい。お薬手帖やマイナンバーカードを用意しておくことも必要。避難所での感染症対策も必要。 ・訓練に参加することが大事、そこに住むいろいろな世代の人が参加することで、ここにどんな方が住んでいるかを把握することができる。ご近所付き合いが大事になる。 ・防災について講座を開催したり、地域のハザードマップを使ってゲーム感覚で地域を知る工夫を。</p> <p>《今後の課題》 ・地域のどこに支援が心配な方がいるかを把握し地域と包括、その他の機関と共有できる場がないことが課題 ・関沢地区では洪水のリスクは低い、古い住宅が密集している為、火災にも注意が必要。案内。 情報の共有をどのようにするか？検討課題。 ハザードマップに、医療を受けられる避難所の情報等、さらに有効な情報を載せられるとよいのではないかと</p>
7月28日(月) 13:30～15:00	<p>関沢3丁目地区住民の皆様5名 民生委員1名 生活支援コーディネーター 1名 高齢者福祉課 1名 危機管理課1名 福祉政策課1名 日本赤十字社埼玉県支部4名 高齢者あんしん相談センター 4名</p> <p>計 17名</p>	<p>「災害図上訓練(防災マップ作り)」「防災～私達の地域は大丈夫？～防災上の資源や危険性を知って、身近な防災に備えよう！」</p> <p>《概要》 ・災害図上訓練(DIG)「防災を掘り起こす」「地域を探求する」「災害を理解する」をグループワークにて実施。 効果:①地域の強さ、弱さを理解する事が出来る(地域の防災力を理解し、災害に備える)②出会いの場が出来、顔の見える関係作りが出来る(地域コミュニティの醸成、防災ネットワークの推進)③情報を共有する事が出来るので、共通の認識を持つ事が出来る(災害に対して同じイメージ・価値観を持つ)</p> <p>《ワークから得られた地域の特性》 ・住宅密集地である、水害は少ない、道路が狭い、スーパーやコンビニが無い、病院が無い、近所付き合いが良い等。 地域に起こる被害について:火災、家屋倒壊、道路事情が悪く救助が遅れる、等 ・避難場所や経路の周知、避難訓練への参加、近隣のコミュニケーション、回覧板等で防災への周知、若い世代の防災への意識付け等</p> <p>《今後の課題》 ・防災への取組として地域の若い世代の方々の参加は必要であり今後の課題と言える。 ・個人個人の防災に対する考え方、自助、共助等の意識を高めることが重要。その為にも地域での取り組み(回覧板等による防災への周知活動、日頃の避難訓練、コミュニティの形成等)について今後更に検討していく必要がある。</p>

<p>9月29日(金) 13:30～15:00</p>	<p>医師 1名 町会長 2名 民生委員 1名 薬剤師1名 介護支援専門員 2名 生活支援コーディネーター 1名 高齢者福祉課 1名 福祉政策課1名 高齢者あんしん相談センター 4名</p> <p>計14名</p>	<p>「 災害時の高齢者支援について考える ～地域での災害災図上訓練を体験して～」</p> <p>《概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机上訓練の報告</li> <li>・福祉政策課の吉野氏より、避難行動支援者登録制度について説明</li> <li>・避難行動支援者登録名簿の活用状況等、以下町会長や民生委員より説明。</li> </ul> <p>《意見交換》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれ持っている情報が縦割り化している為、様々な情報が1つの名簿に入力できるようにし、有事には職権で関係者は閲覧が出来るような仕組みがあっても良いのでは。</li> <li>・災害時、どのように名簿を活用していくのが望ましいかという課題が出て、自治体によっては名簿の情報を包括に提供している所があったり、避難訓練の際に、実際に名簿を活用して訓練を実施している町会もあるとの事</li> </ul> <p>《今後の課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動支援者登録名簿の活用、情報の統一を検討必要。</li> <li>・地域の防災力を高める為には、地域同士のつながりが平時から必要であるように思われる。防災訓練等への若い世代の参加が高くない現状があり、世代間のつながりを強める事で地域の防災力等が高まるような取り組みも必要。</li> </ul>
---------------------------------	---	--